

せい ろう まち

せ

聖籠町 議会だより



**授業の可能性は無限大！
(聖籠中学校 タブレット授業)**

決算審査 町のお金はこんなところに (P.2)

9月定例会
布マスクは今後必要？ (P.6)

 **中学生の町への想い (P.10)**

ズバリ直言！ 町政を問う (P.12)

VOL.132

9月議会

令和2年
10月30日発行

新潟県聖籠町議会



令和元年度 決算のポイント！

一般会計決算

歳入 73億5469万円 (前年度対比 1.1% 増)
 歳出 67億 455万円 (前年度対比 1.2% 減)

歳入のポイント



- 繰越明許費4730万円を差し引いた実質収支は6億284万円の黒字決算となった。
- 固定資産税は、企業の設備投資が堅調であり、加えて新造家屋の増加により前年度対比3650万円の増。
- 歳入全体における増加要因は、国庫補助金の子どものための教育・保育給付交付金で2億8228万円の増となった。

歳出のポイント



- 保健福祉
子どもの医療費助成を高校卒業まで拡充した。高齢者向けにタクシー利用料金助成制度を新設。
- 教 育
1年前倒しで小学校の外国語教育を実施した。各小学校に無線LANの増強を行った。
- 防災対策
津波や洪水の浸水想定を反映するため、町災害ハザードマップを追加修正し、全世帯に配布した。

令和元年度 一般会計・特別会計 決算

会 計 名			歳 入	歳 出	採決結果
一 般 会 計			73億5469万円	67億455万円	可決:全員賛成
特 別 会 計	国民健康 保険	事業勘定	13億4451万円	13億1524万円	可決:全員賛成
		施設勘定	1億1573万円	1億333万円	可決:全員賛成
	介護保険		13億3851万円	12億5865万円	可決:全員賛成
	後期高齢者医療		8947万円	8903万円	可決:全員賛成
	県営開拓パイロット事業		1445万円	667万円	可決:全員賛成
事 業 会 計	下水道事業	収益的収支	7億4903万円	6億8670万円	可決:全員賛成
		資本的収支	1億1935万円	4億2389万円	可決:全員賛成
	水道事業	収益的収支	2億8481万円	2億7075万円	可決:全員賛成
		資本的収支	0円	3890万円	可決:全員賛成
合 計			114億1055万円	108億9771万円	
前年度対比			0.2%	▲1.3%	

お金の使われかた

令和元年度の主な歳入		令和元年度の注目歳出事業	
●固定資産税	32億1819万円	〈土木費〉 消雪パイプ設備工事	6819万円
●町民税(個人・法人)	9億7766万円	〈総務費〉 循環バス事業費	5246万円
●子どものための教育・保育給付交付金(国)	2億2244万円	〈衛生費〉 ざぶ〜ん館の修繕料	929万円
●子どものための教育・保育給付交付金(県)	9037万円	〈民生費〉 プレミアム付商品券事業費	838万円
●軽自動車税	5077万円	〈農林水産業費〉 青年就農給付金	825万円
●ふるさと応援寄付金	4498万円	〈教育費〉 蓮潟こども園ボイラー工事費	685万円
●土地建物売払収入	677万円	〈商工費〉 海水浴場砂浜清掃業務委託料	224万円

小学校無線LAN増強工事



1402万円

町災害ハザードマップ修正業務委託料



600万円

監査委員の意見

依然として大規模な財政確保が見えない現状であり、有益で精度の高い予算管理を求める

【総括的意見】一般会計決算では歳入総額は対前年度1.1%、金額で7978万円の増となっているが、5287万円もの減額補正を行っており収入見込みの精度が求められる。

経常収支比率は改善しており行財政改革の成果が表れているが、その一方で経常一般財源比率は低下しており、財政運営は硬直化にあると言える。

公債負担比率は低下しているが実質公債費負担比率は上昇しており、義務的経費の増加の要因となっている。起債や一部事務組合等の負担金の増加については、要注意である。

財政調整基金は4億7502万円で前年度より5004万円増加し、ほぼ標準財政規模の1割となっているが、毎年、純繰越金の2分の1を積み立て、10億円を目指すことが望ましい。



にのみや ひでお
二宮 秀男
代表監査委員

【一般会計】歳出において不用額や予備費充当、予算流用が年々多くなっているように思われる。また、随時払いは支払手続きを逸したものが見受けられる。財務規則、予算執行指針等を順守した予算執行が求められる。



たなか ともゆき
田中 智之
監査委員

【国民健康保険特別会計】一層の財務体質の強化を図ると共に関係部署との連携を強め、健康事業の一層の充実に取り組むことで、保険税率の引き下げに努められたい。

令和元年度
決算

徹底検証

使われかたをチェック

決算審査特別委員会

決算審査特別委員会は、前年度に執行された一般会計、特別会計、事業会計の7事業が適正なものであったか慎重に審査しました。各会計ごとに事業の成果・実績などを確認するため、担当課長から詳細な説明を受け、委員からは活発な質疑が繰り広げられました。委員会における意見書の中から、一部を紹介します。



学校給食

滞納減少

収入未済額が減少。担当課が収納に尽力した結果。今後も育英資金や学校給食費の収入未済額解消に向け、さらなる努力を。



今大人気のアニメとのコラボ給食



医師住宅

見通し立たず

周辺の土地を有効活用する指針が見えない。売却を含め具体的な方策を示してほしい。



使われていない医師住宅



ふるさと納税

多くの問題点

他自治体と比較し発送業務に対する経費率が高い。発送業務の効率化等の改善点を洗い出し、経費の削減に努めてほしい。



町の特産 シャインマスカット



ぎぶくん館

営業改善を

利用者の増加に向け、営業時間等の見直しを行うなど、(株)聖籠の杜と協議を重ねてもらいたい。



町民利用の促進を



海のにぎわい館

高額委託料



さらににぎわいのある施設へ

通年の業務実態が見えてこない。町民へのPR、利用促進を図り、委託料に見合った施設運営になるよう検討してほしい。



町営住宅東山団地

住みやすい団地へ



より快適な改修を

室内改修により居住しやすい空間となった。今後も入居条件を含めた改善を図り、空き部屋解消に努めてもらいたい。



国民健康保険

生涯健康目指して



大人気の運動教室

〈事業勘定〉
一般被保険者医療給付費は年々増加傾向にある。削減のためにも、各集落において健康体操などの充実に努めてほしい。



中央防災倉庫

災害の備え万全か



備えあれば憂いなし

非常時に備え、備蓄品の管理徹底を継続して行い、新型コロナウイルス感染症予防のための充実した備蓄品を検討してもらいたい。



公共施設

今後の維持管理は



町民会館プラザ

毎年多額の修繕費、保守点検費が支出されている。これからの継続を含め、利用の在り方と今後の維持管理の方向性を明確にしてほしい。



下水道・水道事業

引き続き努力を



新築増加で加入者増

〈下水道事業〉
未接続世帯を引き続き訪問し、接続率向上につなげてほしい。
〈水道事業〉
全世帯加入に向け、粘り強く努力してもらいたい。

9月議会 定例会

9月定例会は9月8日から23日までの16日間の会期で開かれました。一般質問には8人が登壇し、西脇町政の今後・新子育てシステム・新型コロナウイルス対策などについて活発な論戦が交わされました。また条例の制定・改正、補正予算などを審議し、原案のとおり可決しました。

条例改正

町手数料、公共施設の 使用料見直しに 関する改正

町の手数料、使用料は、10月1日から料金改定の予定だった。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響で公の施設利用を制限、それにより利用者 に不便をかけている。よって当分の間、それらの施設に係る使用料の改定を延期するため、関係条例を改正するものです。

Q 当分の間とはいつ頃までか

中村恵美子議員 使用料の改定を当分の間、延期するとあるが、いつ頃までか。

A 新型コロナウイルス感染症の終息後

町長 正直、どの時点とは明言できない。拡大している新型コロナウイルス感染症が終息することが条件だ。

Q 条例改定は必要か

宮沢光子議員 わざわざ条例改正をするのではなく、終息を見通せるまで従来料金のままだと周知すればよいのではないかと。また、手数料の方を据え置くべきではないか。

条例制定

町議会議員及び 町長選挙における 公費負担に 関する制定

A 延期にも議決が必要

町長 料金改定を延期するにあたり、議会の議決を得ることが妥当と考えた。手数料に関しては、役場も通常通りの対応をしており、改定したい。

Q 公費の上限は

中村恵美子議員 選挙の際に議員が納める供託金は15万円になるが、公費支出の上限はいくらか。

A 規定がある

総務課長 自動車借上げでは車代が7万9千円、燃料費3万7800円、運転手代6万2500円が上限。ハイヤー方式では3万2500円が上限。ポスター作成は67枚分で13万5072円。ビラ作成は1600枚で1万2016円が上限だ。

Q 供託金の没収は

宮沢光子議員 供託金は、本人の得票数が有効投票数の10分の1を満たさない場合没収される、というのでよいか。

A 町長選挙と議員選挙では異なる

総務課長 町長選挙では有効投票数の10分の1を満たさない場合に没収。議員選挙では有効投票数÷議員定数÷10を下回ると没収される。

条例改正

企業立地促進 条例の一部改正

町民雇用と産業振興を図る目的の雇用奨励金が活用されていない。今後、町民雇用の拡大を促すよう、交付を受けやすくするため改正するものです。

Q 町民雇用は増えるか

田中智之議員 企業への雇用奨励金を20万円から50万円に増やすことで、町民の雇用が増えるという手ごたえはあるか。

A 企業からの打診あり

東港振興室長 パブリックコメントの状況だったが、企業からも投資の要件に見合うかどうか、雇用対象になるか等の質問を受けており、活用されやすくなっていると思う。

一般会計 補正予算

幼・小・中学生に 布マスク再配布か

質疑のあった 主な歳出・歳入

令和2年度一般会計補正予算は、既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ5214万円を追加し、総額91億5813万円と定める補正予算を、全員賛成で可決しました。

主な質疑は、幼・小・中学生に配布する布マスク、中学校修学旅行、旧臨海西公園の売却などでした。

またコロナ禍により、議員の視察研修分142万円を減額しました。

Q 布マスクに決めた理由は

長谷川六男議員 消耗品のマスクを、布マスクに決めた理由は。また枚数は何枚か。

A 洗濯し

再利用が可能

総務課長 布マスクとした理由は洗濯し再利用が可能であるからだ。枚数は幼・小・中全部で5500枚である。

Q マスクの確保は必要か

中村恵美子議員 マスクは安くなって、買いやすくなっている。

A 要請があれば

応えたい

4月に届くというが、マスクの確保はしなくても良いのではないか。

A 状況を見て

柔軟に対応

町長 感染症の状況次第だが、保護者からの要請がなければ、こちらから確認することもある。感染症の状況を見て、柔軟に対応したい。

Q 配布するのか
備蓄するのか

手嶋満議員 マスクを次年度に配布するということが、要請がなければ備蓄するのか。



幼・小・中
歳出 布マスク等
311万円

Q どうする

自助・共助・公助

田中智之議員 マスクは、春先の手に入らない状況とは違う。

子どもに手作りマスクを持たせる親も多く、自助で十分に対応できている状況だ。公助は今はいらない。

A 今の状況ならば自助で

町長 新型コロナウィルスが春先と同じ状況なら、個々で対応できない。町が支援することになる。個々で対応出来るのであれば、お願いしたい。

Q 無駄のない計画を

青木順議員 修学旅行のキャンセル料は、今回が2回目と記憶している。現2年生についても、無駄のない安全な計画を立てるべきでは。

A 計画的に

実施していきたい

子ども教育課長 キャンセル料は2回目である。

計画的な実施については、指摘のとおりである。

Q 聖中現2年生の修学旅行は

中村恵美子議員

コロナ禍の中、聖籠中学校3年生の修学旅行は、当初の予定をキャンセルしてサントピアワールドを1日貸し切りで行う。

現2年生の修学旅行についてはアンケート等とするのか。

A 状況に応じ適切に対応

教育長 現2年生は、修学旅行までまだ半年ある。アンケートの実施はもう少し様子を見たい。新型コロナウイルスや、別のウィルス、自然災害などどうなるか分からない。状況に応じて、適切に対応したい。

Q 測量図はなかったのか

高松守雄議員

旧臨海西公園の測量を再度行うというのだが、旧臨海西公園の土地は、県から払い下げてもらったときの測量図はなかったのか。買い手は、決まったのか。

A 30年前の物がある

総務課長 図面は残っているが、30年前の物であり、現状と合わない可能性がある。

Q どこが壊れたか

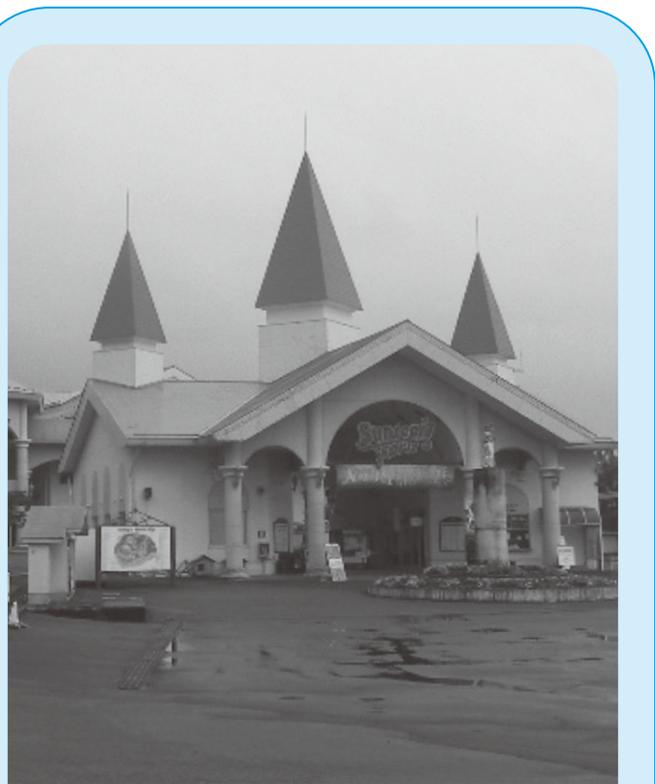
消雪パイプ

性がある。買い手は、決まっていない。

小川勝也議員 消雪パイプの補修は、6カ所というのだが、どこが壊れたのか。

A 分電盤の腐食等だった

ふるさと整備課長 消雪パイプの井戸の点検をした結果、主なもので分電盤の腐食等である。



**聖籠中学校修学旅行
キャンセル料
歳出 99万円**

●イベントの延期と変更

●聖籠町応援キャンペーン(ハピチケ)

●公共施設使用料改定の延期

行政報告



にしわき 西脇町長

イベントの延期・変更

今年の成人式は来年の8月14日に延期して開催します。令和4年度以降も21歳になる方を対象とし、開催時期も8月にします。

文化祭は開催せず、町民会館フロムナードで「町民ギャラリー展」を行います。

応援キャンペーン

飲食業等への緊急支援策の聖籠町応援キャンペーン(ハッピーチケット)を全世帯へ配布しました。加盟登録店は飲食業で17店、理美容業で33店、タクシー・代行業で6店です。

ぎぶぐん館の利用促進のため、全戸配布した「ぎぶぐん利用券」は、8月末までで2335枚の利用がありました。

公共施設使用料の改定

利用施設の人制限などをお願いしていることから、通常利用が可能となるまでの当分の間、使用料の改定を延期します。

小学生の通学の在り方

「学校から集落の中心までの道のりで25キロメートル以上にある集落全児童を対象」として、10月からバス等により送迎対応する予定です。

みなさんの声

請願3件を審査

全員賛成で採択

◎「コロナ禍における私立高校生の学びを保障し私立高校の教育環境整備をはかるため、私学助成増額・拡充を求める意見書」の採択を求める請願

「提出者」 新潟県私学の公費助成をすすめる会会長 中村直美

「紹介議員」 中村恵美子・宮沢光子

この請願は「国の私立高校生に対する就学支援の拡充により授業料は軽減されたが、入学金や施設使用料等の負担があるため、公立高校との格差是正を求める」というものです。総務文教常任委員会での審査を経て本会議での審議の結果、全員賛成で採択しました。

↓採択を受け、国、県に意見書を提出。

全員賛成で採択

◎加齢性難聴者の補聴器購入に対する公的補助制度創設を求める請願

「提出者」 石井吉春

「紹介議員」 田中智之・宮沢さやか

この請願は「難聴が高齢者の社会参加や再雇用の大きな障害となっているため、加齢性難聴者の補聴器購入に対する公的補助制度創設を求める」というものです。厚生産業常任委員会での審議を経て本会議での審議の結果、全員賛成で採択しました。

↓採択を受け、国に意見書を提出。

賛成多数で採択

◎道路整備の請願書

「提出者」 学校法人新発田中央高等学校 理事長 後藤泰二郎・校長 関矢伸雄

「紹介議員」 小川勝也・宮沢さやか

この請願は「本町から新発田中央高校へ通学する生徒の、安全性と利便性の向上を目的に、三賀地内の敬和学園大学入り口から東高畑橋にいたる道路の拡幅整備を求める」というものです。厚生産業常任委員会での3月議会からの継続審査を経て、本会議での審議の結果、賛成多数で採択しました。「賛成10反対2」



教育委員に佐久間千都さん(再任)



さくま ちづ 佐久間千都さん (蓮瀧)

教育委員の佐久間千都さんが令和2年10月31日をもって任期満了になります。引き続き任命することが求められ、無記名投票によって賛成多数で同意しました。

第3回 臨時会

7月13日

Q タブレット端末の勉強会は

宮沢光子議員 小・中学生へ貸与するタブレット端末。契約後の勉強会やアドバイスの実施期間は。

A 期間限定していない

子ども教育課長 期間は特に限定していない。必要に応じて要請し実施してもらおう。

Q トイレ便器数基準を満たすか

小川勝也議員 亀小の新しい女子トイレの便器数が減っている。確認はしているのか。

A 確認済みだ

子ども教育課長 今より若干減っているのは確認済み。旧文部省の100

人当たり幾つという基準は満たしている。

Q ハッピーチケットの経緯は

中村恵美子議員 全世界に7千円分のチケットとざぶくん館の利用券を配布。町民からは賛否の声がある。発案の経緯は。

A 商工会からの要請

町長 商工会から要請があった支援が必要とされる事業への予算計上。今後も状況を見ながら対応。

Q 特定事業者への現金給付の理由は

田中智之議員 なぜバス事業者に対してだけ30万円を支給するのか。町民が納得できる基準を設けてから事業を進めるべき。

A 一番ダメージを受けている業種

町長 近隣市もバス・タクシー事業者に支援を実施。一番ダメージを受けている業種だ。制度設計よりスピードを重視した。

Q 給食用牛乳事業への助成根拠は

高松守雄議員 学校休業に伴う給食用牛乳事業へ68万円の助成は、県の学校給食等からの指示か。根拠はなにか。

A 違約金的なものだ

子ども教育課長 4〜5月で供給不能となった牛乳が約3万パック。町の一方的な都合で休校し、業者の運転資金が減少、経営悪化したため支出。

Q 牛乳以外の食材は

青木順議員 牛乳以外の他の給食食材に関してはどう考えているのか。しっかり調査してほしい。

A 今後検討する

子ども教育課長 牛乳を製造・納入している業者のみから申し出があった。納入業者に対し、もう少し丁寧に聞き取り等を行うよう検討する。



Vol. 05

テーマ 「町への想い」

中学校での学習や部活、普段の生活の中で感じることをつづってもらいました。

聖中生徒の声

1年 加藤 蛍太郎さん

私は聖籠町が導入したタブレットを使った授業を受けています。家庭学習などにも有効で勉強しやすいです。恵まれた環境で学習できることに感謝しています。



1年 相馬 花音さん

聖籠町の好きな所、それは町づくりが発展している所です。図書館や町民会館などたくさんさんの施設があります。住みやすい環境の聖籠町が好きです。



2年 長谷川 優衣さん

聖籠町には利用者の限定がなく誰でも利用できる公共施設が多くて良いと思います。今後このような施設が増えて欲しいです。



2年 田中 龍之介さん

スポーツのできる環境が整っている聖籠町。サッカー部の僕はおもいきりサッカーができます。この環境に感謝し今後も頑張ります。



3年 小林 天空さん

設備の整った学校で、学習や部活に打ち込み、仲間との絆を深めています。充実した学校生活を送れる聖籠町に感謝しています。



3年 宮澤 月渚さん

聖籠町はとても魅力的だと思えます。自然も豊かで地域の方も親切なので、とても住みやすい良い所です。さらに輝く町になってほしいです。



議員表決結果報告

令和2年第3回聖籠町議会臨時会

議員個々の賛否：賛成=○ 反対=× 欠席=欠 ※議長は賛否同数時以外、採決に参加できません

提出者	議案等	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	採決結果
		高崎美由貴	伊藤千穂	手嶋満	宮沢さやか	小川勝也	青木順	田中智之	高松守雄	宮沢光子	中村恵美子		須貝龍夫	長谷川六男	五十嵐利栄	
町長	物品購入契約の締結について [GIGAスクール構想端末関連整備事業（その2）]	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		欠	○	—	可決
	工事請負契約の締結について [亀代小学校トイレ改修工事]	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		欠	○	—	可決
	令和2年度聖籠町一般会計補正予算（第5号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		欠	○	—	可決
議員	聖籠町議会会議規則の一部を改正する規則について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		欠	○	—	可決

令和2年第3回聖籠町議会定例会

議員個々の賛否：賛成=○ 反対=× 欠席=欠 ※議長は賛否同数時以外、採決に参加できません

提出者	議案等	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	採決結果
		高崎美由貴	伊藤千穂	手嶋満	宮沢さやか	小川勝也	青木順	田中智之	高松守雄	宮沢光子	中村恵美子		須貝龍夫	長谷川六男	五十嵐利栄	
町長	聖籠町議会議員及び聖籠町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	—	可決
	新潟県営聖籠地区開拓パイロット事業基金条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	—	可決
	聖籠町職員の旅費に関する条例の改正に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	—	可決
	聖籠町入湯税条例等の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	—	可決
	聖籠町立学校施設の開放に関する使用料条例及び聖籠町手数料、使用料の見直しに伴う関係条例の整備に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	—	可決
	聖籠町手数料条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	—	可決
	聖籠町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	—	可決
	聖籠町企業立地促進条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	—	可決
	聖籠町特別用途地区建築条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	—	可決
	聖籠町教育委員会委員の任命につき同意を求めるについて	無記名投票による											無記名投票による	同意 (賛成10 反対2)		
	令和2年度聖籠町一般会計補正予算（第6号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	—	可決
	令和2年度聖籠町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	—	可決
	令和2年度聖籠町介護保険特別会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	—	可決
	令和2年度聖籠町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	—	可決
	令和2年度新潟県営開拓パイロット事業聖籠町特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	—	可決
	令和元年度聖籠町一般会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	—	可決
	令和元年度聖籠町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	—	可決
令和元年度聖籠町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	—	可決	
令和元年度聖籠町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	—	可決	
令和元年度新潟県営開拓パイロット事業聖籠町特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	—	可決	
令和元年度聖籠町下水道事業会計決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	—	可決	
令和元年度聖籠町水道事業会計決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	—	可決	
請願・意見書	道路整備の請願書	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×		○	○	—	採択
	「コロナ禍における私立高校生の学びを保障し私立高校の教育環境整備をはかるため、私学助成増額・拡充を求める意見書」の採択を求める請願	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	—	採択
	加齢性難聴者の補聴器購入に対する公的補助制度創設を求める請願	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	—	採択
	新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	—	可決
	コロナ禍における私立高校生の学びを保障し私立高校の教育環境整備をはかるため、私学助成増額・拡充を求める意見書（国あて）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	—	可決
	コロナ禍における私立高校生の学びを保障し私立高校の教育環境整備をはかるため、私学助成増額・拡充を求める意見書（県あて）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	—	可決
加齢性難聴者の補聴器購入に対する公的補助制度創設を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	—	可決	

西脇町

長谷川六男議員の
視点



西脇町政2年経過 今後のゆくえは

町長 引き続き行財政改革を進める

西脇町政は2年目を終え、折り返しを迎えた。町長は、「聖籠町役場での37年間の行政経験を生かし、財政危機の克服、情報公開と意識改革、新しいまちづくりを軸に、町の活性化を進める。そして、子どもたちへの投資、新しい福祉政策、障がい者、高齢者など、未来へつながる事業への支援を展開することで、より魅力ある聖籠町になるよう全力で取り組む」と町民誰もが希望を持てるような公約、目標を掲げていた。

問 数多くある公約項目の中で、どのくらい実行・達成できたか。また、この2年間に自身で点数を付ける点と何点か。

町長 個別具体の公約は前進できたものと認識している。

循環バスの見直しについては、検討委員会等の検討も踏まえながら、デマンドタクシーとの比較・検討も行った。実施している市町村に確認したところ、デマンドタクシーの場合、一人利用となると経費が非常に高くなり、難しい部分がある。現実はそのような問題がある。

問 数多くある公約項目の中で、どのくらい実行・達成できたか。また、この2年間に自身で点数を付ける点と何点か。

町長 個別具体の公約は前進できたものと認識している。

循環バスの見直しについては、検討委員会等の検討も踏まえながら、デマンドタクシーとの比較・検討も行った。実施している市町村に確認したところ、デマンドタクシーの場合、一人利用となると経費が非常に高くなり、難しい部分がある。現実はそのような問題がある。

問 コロナ禍において、町民が安心して暮らせる財源の捻出と今後期待できる財源はあるのか。

町長 東港企業の設備投資の促進、未操業地への早期進出に向けた取り組みが重要と考える。財政改革など不断の見直しにより財源を確保する。

問 新型コロナウイルス感染症対策は大丈夫か

問 ざぶくん館の感染対策は万全か

町長 日帰り温泉棟の入り口には来館者の体温を測定するサーモカメラを設置し、来館者全員の体温確認を行い、熱がある方については入館をお断りしている。

問 診療所におけるインフルエンザと新型コロナウイルスに対する対策は整っているか。

町長 インフルエンザに罹患した方と新型コロナウイルスに感染した方の判別は非常に難しい。既定の問診による従来の発熱外来体制を継続し、対応を図っていく。

問 町民に安心感を与えるためにも、町にある医療機関でもPCR検査ができるようになるように県に要請できないか。

町長 国からの指針を受けて、これから策定されるだろう県の計画を待って、対応を考えていくことになる。



怖い新型コロナも私たちがついてるから安心です
(診療所スタッフ)

施設利用

小川勝也議員の
視点



聖海荘の開館は

町長 10月中に開館予定

問 老人福祉センター聖海荘は、いまだに休館が続いている。今後の開館予定は

町長 感染予防に十分配慮し、10月中には再開したいと考えている。

問 町民会館等で、使えない施設や部屋がある。今後、いつ頃利用可能になるか。

教育長 社会体育および社会教育施設は利用人数を制限、利用者を町民限定とした一部制限を設けているが、全ての施設で利用を再開している。

使用していない施設の今後は

問 医師住宅は、空き家の状態が続いている。来年度以降の利用計画はあるのか。

町長 これからの事業展開の可能性を含め、検討はしているが、前に進んでいないのが実態。

問 聖籠地場物産館に隣接する空きスペースの今後の対応は。

町長 根本的に見直しが必要だという認識は変わらない。財政的なことも考える必要がある。

問 役場前にあるテニスコート、図書館前にある町民プールは現状のままか。

町長 いずれの施設も再開の要望はない。再開に向けた施設改修費もかさむ。現時点では再開は考えていない。

問 町営住宅東山団地の改装工事を行ったが、今

後の空き室解消の見通しは。

町長 引き続き入居を希望する方のニーズを把握しながら、長期的な視点での町営住宅の在り方についても検討を進める。

学校再開後の教育現場は

問 子どもたちのマスク、フェイスシールドの使用状況は。

教育長 マスクは学校にしている。

問 夏休み短縮による、真夏の登下校での熱中症等の問題はなかったか。

教育長 各学校において、帽子の着用の徹底、水筒の持参、必要に応じて傘を使用するなどの対策を指導。夏休みの短縮による登下校での熱中症の発生はなかった。

いる間は着用が基本。運動の時間は、教師の指示で外してもよい。登下校時も、適当な間隔を取り、おしゃべりを控えるなどの指導をし、外してもよいとしている。

フェイスシールドは、音楽や英語の時間、小グループでの話し合い活動を行うときなどはマスクに代えて、あるいはマスクと併用して着用。

問 休校による学習の遅れの回復状況は。

教育長 現在までに小・中学校の全ての学級において授業の遅れを取り戻している。



もったいない町の空き家 (医師住宅)

宮沢光子議員の
視点

どうなっている こども園の民営化



町長 各施設の整備内容を協議している

問 令和4年度から町立の3こども園は1つの幼稚園になり、残りは2つの社会福祉法人が認定こども園を開設する。

聖籠町の3小学校区に設置されていた町立の3こども園(旧幼稚園)は、約50年間の歴史があり、町の特徴を出していたが、令和3年度で幕を閉じる。令和4年度の事業開始が滞ることなくスムーズにいくために、今後の計画はどうなっているか。

町長 令和4年度からは、町における保育・教育施設は、ゼロ歳児から5歳児を受け入れる私立認定こども園が4園、3歳児から5歳児を受け入れる町立幼稚園が1園の体制になる。

私立認定こども園の運営を担う社会福祉法人2者と連携を図り、各施設での受け入れ人員や施設の整備内容の詳細について協議し、各施設における保育・教育サービス内容の詳細を確立していく。

問 教育の政策は、時の首長の思いが形になる。今回の私立認定こども園構想は、西脇町政の重要な政策と思つて良いか。

町長 時代とともに、保護者のニーズ等が変わってきた。町長就任早々、教育委員会にも意見を聞いた。私立認定こども園は、教育における一番大きな政策である。

問 町の教育指針として、「幼・小・中12年カリキュラム」がある。町の子どもの育ちを確認するために、今後、民間の認定こども園と関係を結び、連携する具体的な計画はあるか。

教育長 両法人とも教育部門について、町との連携を望んでいる。今年度から、新たに幼児教育センターを設置し、幼児教育アドバイザーを配置した。教育委員会としては、

町の幼稚園のみならず、法人が運営する4つの認定こども園に対しても幼児教育の充実を図りたい。

どうなっている

情報モラルの教育

問 町の小・中学校の子どもたちに1人1台タブレットが配布される。

確かな学力が付くことを期待したいが、反面、機械に振り回されてしまつ子や情報モラルに欠ける子が育つ可能性も高い。各学校では、情報モラルや危機管理能力の教育はどうなっているか。

教育長 情報モラルをはじめとしたICT教育は今まで以上に重要である。教職員、保護者等の検討会で「タブレット端末使用の決まり」を策定したが、今後、必要に応じて見直しをしていく。



おいしい時間 いただきます！(聖籠こども園)

新システム

宮沢さやか議員の
視点新しい子育てシステム
特色は

教育長 切磋琢磨できる環境に

問 令和4年4月。町の子育てシステムが変わる。預かり保育時間は、午前7時30分から午後6時までで短縮される。この時間帯とした理由は何か。

教育長 新システムへ移行後、長時間保育を必要とする子どもは基本的に認定こども園で受け入れることになる。町立幼稚園では短時間の対応ではないのではないかと考え、延長保育時間を構想した。

問 短縮により、幼稚園機能の充実が図れるのか。

教育長 執務時間が確保できる体制が必要。預かり保育の必要数が減り、新しいシステムへ移行することこそが幼稚園機能の充実につながると思う。

問 教育方針も園を選択する理由の一つだ。町の教育方針に準ずるだけではなく、各私立こども園の特色も生かすべきでは。

教育長 協力・連携して体制整備に取り組み必要がある。今後はそれぞれが特色を生かし、切磋琢磨できる環境となる。保

護者にはその状況を見て判断してもらうことになる。

子育てしやすいまちづくりを

問 緊急事態宣言が発令された時期に子どもの予防接種の接種率が低下、または接種時期を逃したケースが出ていると報道にあった。本町でも同様の事例はあるのか。

町長 同様の事例はない。



運動会後に笑顔でポーズ!!
充実した幼児教育の継続を(亀代こども園)

予防接種の重要性の周知徹底を引き続き行いたい。

問 今後もおたふく風邪、インフルエンザの予防接種助成制度は継続していく方向か。

町長 感染症予防と接種者の経済的負担軽減のため今後も継続したい。

問 インフルエンザの予防接種について厚労省、日本小児科学会は、生後6カ月から13歳未満で2回の接種を推奨している。本町も検討しては。

保健福祉課長 再度精査し、検討していきたい。

問 医療費の助成拡充と同様、今後は高校生に対する助成も検討しては。

町長 今年度はワクチン確保の問題がある。基本的な考え方は検討する。

問 子育てしやすいまちづくりの支援策としてICTを活用した電子母子健康手帳アプリの導入を検討してはどうか。

町長 国が進めているマイナポータルとの連携を検討したい。

問 マイナポータル活用にはマイナンバーカードの交付が必要だ。今後どのようにPRしていくのか。

保健福祉課長 その都度お知らせはしている。今後も周知を図りたい。

一〇メモ

※マイナポータル
子育てや介護等の行政
手続や行政からのお知らせを、オンライン上で確認できるサービス。

中村恵美子議員の
視点

県は新型コロナウイルス 対策拡充を



町長

県は可能な範囲で
取り組んでいる

問 新潟県のトップである花角知事に、新型コロナウイルス対策について国の施策の上乗せにとどまらず、県独自の施策を行うなど、聖籠町の町長として提言するべきでないか。

町長 新潟県では、県内の感染拡大状況や医療体制のひっ迫状況等を踏まえた注意報を発令し、注意喚起を行った。今後の新型コロナウイルスの感染拡大に備え、病床の確保やPCR検査可能件数を拡大している。県として可能な範囲で対策に取り組んでいると捉えている。

問 いったん感染が起きれば、一気に拡大する可能性はどこにでもある。医療機関、介護施設、福祉施設、保育園、幼稚園、学校などは集団感染によるリスクが高い。その職員の出入り業者への定期的なPCR検査を行うこと、必要に応じて施設利用者全体を対象にした検査を行うことは重要で

ある。職員等のPCR検査を行えないか。

町長 現時点でのPCR検査は、医師が治療上必要と判断した場合、保険適用で検査を受けることができる。それ以外での検査は保険適用外である。

問 現状、職員等のPCR検査を行うことは難しい。新型インフルエンザの終息が見えない中、インフルエンザ感染症が流行期となる前に、北海道北斗市のように、全住民

に対してインフルエンザ予防接種の無償化をするべきでないか。

町長 インフルエンザ予防接種の無償化は、今後の国の財政措置等があるのかどうかという問題もある。

他の市町村の動きなどに注視して、現時点では現行制度の中で勧奨する。

………
新たなこども園の職員体制は



いつまで続くか コロナ禍生活 質問

問 現在の町立こども園3園は、令和4年4月1日から1園になる。現職員体制はどうなるか。

教育長 法人側からの要望もあり、町独自支援策として保育士資格を有する町職員の派遣を検討中。

問 3園から1園になることへの、説明会の考えは。

教育長 適宜広報を通じて住民へ知らせ、対象保護者へは適切な手法で説明を実施したい。

………
就学援助費の拡充を

問 聖籠町の就学援助費は、生活保護基準の1.1倍である。1.5倍にできないか。

教育長 これまで認定基準を1.1倍未満としていたものを引き上げる方向で見直すことにしている。

学校給食

高崎美由貴議員の
視点

各学校での 自校給食を

町長

調理場の今後の在り方を検討

問 平成21年に示された学校給食衛生管理基準は、食材の選定から児童・生徒へ給食が届くまで、食中毒等の事故防止の基準を定めている。本町の学校給食調理場は、この基準を満たしているのか。

教育長 残念ながらいくつか基準を満たしていない状況。下処理室と調理室は、部分的に作業が分けられていない。空調設備が完備されていない。床に部分的に破損がある。

問 食物アレルギーは命に関わる重篤な症状が出る場合もある。アレルギー対応食の調理はどのように行っているか。

教育長 専用の調理スペースがないため、移動可能な作業台やカセットコンロを使用して空きスペースで行っている。

問 子どもたちに農家の存在を知ってもらい、身近に感じてもらいたい。今後の農家にも必要なこと。学校給食の地元食材の使用率はどれくらいか。

教育長 野菜、果物、みや豆腐など加工品を含めた全体の割合は49%。

問 地元食材の使用率を向上させるにはどうすれば良いか。

教育長 食材の規格をそろえること、さらに数量の確保などが必要。現状では飛躍的に使用率を上げることは難しい。

問 地元の農家で作っている食材を自分たちが食べているという、生産者と子どもたちを給食でつなぐ方法はないか。

教育長 食育の観点からとても大事なこと。町としてもそういう環境は必要。食材を安定的に供給する体制づくりが重要。そのための調整が可能かどうかを探ればと思いつく。

問 町の子育て環境の魅力の一つに学校給食の充実を提案する。自校式給食調理場を検討してほしい。調理場の問題解決、給食の運搬がなくなり、出来たての給食提供が可能。一度に必要な食材の量が減り、小規模農家でも食材の提供が可能。一

力所の調理場でのリスクを各学校へ分散できるなど、メリットもたくさんある。町としては、自校式給食をどう考えるか。

町長 各施設の老朽化等の対応を検討する庁内ワーキングを立ち上げ、調理場の今後の在り方についても検討したい。今後の子どもの人数の減少も想定し、あらゆる方式を検討する。老朽化の施設は他にもあるため、どこ

を優先的に改修すべきかを検討していきたい。



今日はリクエストメニュー
子どもたちの喜ぶ顔を思い浮かべながら

青木順議員の
視点

ネット

ネット環境どう 付き合っていくか

教育長 有効活用できるよう支える



コロナ禍でも野球ができることに感謝

問 PTAではネット環境のルールや決まりについて、みんなで守るようなルールがあってもいいのではという声が上がっている。タブレットが小中学生に行き渡る今、どう考えている。

教育長 安全に活用するための決まりが必要なことから、教職員、保護者、端末納入業者、行政関係者で検討会を持ち、タブレット使用の決まりを作成した。今後は学校と家

庭で連携し、ルールの徹底を図る。

問 コロナ禍による休校後、他町村では不登校の子どもが、増加傾向にあると聞いた。当町ではどのような状況か。

教育長 臨時休校後も夏休み後の学校再開後も元気に登校している。逆に不登校傾向な子が、学校に足を向けるなど新たな

進展もあった。小学校の不登校者は平成29年度が4人、30年度が5人、令和元年度が2人、今年度現時点ではゼロ人である。中学校は平成29年度が23人、30年度が22人、令和元年度が21人で、今年度現時点では、7日以上欠席が10人と少しずつ減少している。

中学校で不登校児が増える原因は、※中1ギャップという現象、部活動との両立、思春期の友達関係などさまざまであり、特定は難しい。解消できるような努めたい。

問 中学校の草刈り中や小学生のスポーツ活動中に大人が蜂に刺された。中学校は網戸がない教室もあるため危険である。現場を把握し、対策はしたか。また、町内にも危険箇所がないか調査し、巣の撤去まで全額補助すべきと思うが。

教育長 中学生が学校生活の中で蜂に刺されたことは今までにはない。

町長 危険性の高いスズメバチの巣の撤去は、2万円を上限に補助している。かなり手厚い補助であり、当分、現状の補助を継続したい。

問 海難事故防止のため、コロナ禍でもプール授業などできないか。また、聖籠海岸を観光産業となるよう、さまざまな団体と協議できないか。

教育長 プール授業については、工夫して実施が可能か来年の状況で判断する。

町長 聖籠海岸については、来年状況が許せば、ぜひ協議させていただきたい。

一〇メモ
※中1ギャップ
小学校から中学校へ入学した際、それまでの環境の変化についていけず、いじめが起きたり不登校になったりする現象のこと。

財政の現状

田中智之議員の
視点



財政立て直し 判断基準は

町長 変革の意識により見えてくる

問 24年続いた渡邊町政から西脇町政に代わって2年。任期の折り返し地点だ。町長は2年前「いま財政を立て直さないと、町は急激に衰退する」という危機感から出馬し、「財政改革で捻出した財源を町民のために有効に使う」と訴え当選した。

その後、事業の見直しはおおむね順調だが、気掛かりなのが財政立て直しだ。それは借金(起債)を減らし、貯金を増やすという単純なものではない。

当選後、町長は新聞の取材に「一般会計当初予算を4年間で60億くらいまで落としたい」と述べたが、今年度の当初予算は当時より増えて71億円を超えた。一方、財政健全化を判断する実質公債費比率・将来負担比率は危機的状況とは言えない。では町長が目指す財政立て直しの判断基準は何か。また、財政改革は未来の聖籠町を、どう変えるのか。

町長 現在、財政健全化の指数そのものは危険的な状況と言えるものではない。ぎりぎりの不交付団体という状況、今後の少子高齢化や既存公共施設老朽化への将来負担を踏まえ、優先すべき課題に対応できるように常に変革の意識を持って財政運営を行う。それによって判断基準も一定の見通しがでてくるのではないかと。

聖籠町に住んで良かったと思える施策を、町民が考え、意志表示することが大切で、その声を反映させる形で変えていくことが望ましい姿だ。

町立図書館に 電子書籍の導入を

問 コロナ禍で人々のライフスタイルが大きく変化し、自宅での「巣ごもり読書」も拡大している。そんな中、タブレット等で閲覧できる電子書籍を貸し出す図書館が増えていく。書籍に触れる必要がないため新型コロナ対

策としても注目されており、既に全国35道府県、100自治体が導入している。小・中学生のタブレットとの連携も期待できるといふ点からも、町立図書館も導入すべきでは。

教育長 電子書籍については、2年前から教育委員会内で調査・研究を進めていた。電子書籍には利点や特徴もある一方で、検討すべき課題もあるため、町立図書館への導入

はもう少し様子を見たい。小・中学生に貸与したタブレット端末との連携では、端末から図書館のホームページを通じて青空文庫・青空朗読へのリンクが成立した。今後活用を促していきたい。



親しみやすさと利便性を兼ね備えた図書館に

コロナ禍での安全施工を確認

総務文教

7月30日、閉会中調査で亀代小学校を訪問し体育館のつり天井撤去、屋根葺き替え工事の進捗状況の現場視察を行いました。

平成26年、天井脱落対策規制強化のため、建築基準法施工令が改正され、今年度、本町において体育館のつり天井撤去工事が3小学校一斉に行われています。

今回視察した亀代小学校では、屋根の葺き替え工事も同時に行っており、

直接内部足場、外部足場を上り、現場担当者より工事状況、安全対策等の説明を受けました。

屋内ではつり天井は既に撤去され吹付塗装に着手。屋外での屋根葺き替え工事は屋根瓦が撤去され、次工程に着手している状況でした。

今回の調査で、順調に工事は進行し、完了後は子どもたちが安全・安心の下、使用できる施設となることを確認しました。

(文責 手嶋 満)



話し合った レポート

所管の議案等を審査

厚生産業



9月8日、一般会計を含む議案と2つの請願について審査しました。

介護保険特別会計補正予算では基金の積立金があり、第8期介護保険事業計画においては、保険料の引き下げを望みます。

請願については、「加齢性難聴者の補聴器購入に対する公的補助制度創設を求める請願」が付託されました。補聴器の普及は認知症の予防、健康寿命の延伸、さらには医療費の抑制にもつながる

ことから採択としました。

また、3月定例会で本委員会に付託されていた「道路整備の請願書」は、新発田市との行政界を跨ぐ道路であり、まだ議論の余地があることから、継続審査としていました。しかし、同趣旨の請願が新発田市議会にも提出され、審査されたことから、9月23日、請願の趣旨を認め、賛成多数で採択としました。

(文責 高松守雄)



文章はコンパクトに

広報広聴

8月26日、県町村議会議長会主催の広報研修会に全委員が参加しました。毎年、広報誌編集のスキルアップのために開催される研修会。今年度は新型コロナウイルス対策がされた中での開催でした。「わかりやすい文章の書き方・直し方」をテーマとした講演では、改めて認識したことが2つあります。1つ目は、文章は読んで理解してもらうことが目的であること。2つ目は、文はコンパクト

トにすることです。文章を作る際、丁寧に書こうとするとつい一文が長くなりがちです。人は文脈を追って読み進めるので、テンポのよい文章を書くことの重要性を学びました。

読み手とのギャップが生じないよう、委員全員の目で確認し、分かりやすい、伝わりやすい広報誌となるよう日々研鑽します。

(文責 宮沢さやか)

見て聞いて

委員会

議員定数を議論

議会運営

9月1日に9月議会前の委員会を開催しました。議会の運営に関する事項等(第3回議会定例会の運営について)と「全員協議会における議員定数と議員報酬」(案)、町民との意見交換会について議論しました。

「全員協議会における議員定数と議員報酬」(案)については、各委員に説明し、次の委員会までにそれぞれの意見をまとめておくことにしました。

町民との意見交換会は、必ず行う・感染対策をして行う・もし、感染者が出たら大変なので行わない等、いろいろな意見が出されました。

次回には、意見を取りまとめて結論を出す予定です。

(文責 中村恵美子)



ようこそ 聖籠へ!

～ Welcome to Seiro ～

「ようこそ聖籠へ!」では、他市町村出身で、
現在聖籠町にお住まいのご家族にインタビューをします。



こばやし さとみ
小林 智実さん
(二本松)



笑い声が絶えない家庭を♪

Q 出身地と聖籠町在住年数は?
私は妙高市出身で在住年数は4年。主人は生まれも育ちも二本松です。

Q 聖籠町に住むことになったきっかけは?
結婚を機に夫の実家の建て替えをすることになり、移住しました。

Q 家族構成を教えてください。
私たち夫婦と子ども一人(女の子)。おじいちゃん、おばあちゃん、夫の妹の6人家族です。

Q どんな町になってもらいたいですか?
コストコとかイケアとかアウトレットモールが誘致してほしいです。あと、3歳以下の小さい子ども専用の公園があれば、気兼ねなく遊べてうれしい!!

今回は、二本松集落の小林さんご家族です。



関わることでできてホッとしました。

Q 聖籠町の良いところを教えてください。
子育て支援が充実しているところ。すくすくサロン「さくらんぼ」と多目的運動場での集まりでは、子どもも遊べて私もおしゃべりができ、育児中でも人と

Q 小林さんご家族の夢を教えてください。
豪華客船で世界一周のクルーズ旅行がしたいです。

お知らせ

～ information ～

議会トップページはこちらから



次回の定例会は、12月8日(火)開催予定です。

- ①FM 放送 エフエムしばた 76.9MHz
- ②インターネットサイマルラジオ 右のQRコードから聴くことができます。

本会議を聴くことができます



★表紙の写真★
「授業の可能性は無限大！」
(聖籠中学校 タブレット授業)

いち早くタブレット端末が導入され、画期的な授業が行われていました。

(撮影 青木順)

編集後記

コロナ禍の中、各地で感染者に対する誹謗中傷、いやがらせ等が大きな問題となっています。誰もが感染者となりうる環境で立場を自分に置き換え考えれば、このようなことは起きないのではないのでしょうか。相手の立場になって考えるのは大変難しいことですが、とても大切なことだと思います。

昨年夏の改選後、新メンバーの委員会となって一年が経過し、5回目の発行となる議会だよりです。

今後も読み手側の気持ちになり、多くの方に手に取って読んでいただける議会だよりを目指して編集作業に取り組んでいこうと思っています。

広報広聴常任委員会
副委員長 伊藤 千穂

発行責任者

議長 五十嵐利栄

広報広聴常任委員会

委員長 宮沢さやか
副委員長 伊藤 千穂
委員 中村恵美子
田中 智之
青木 順
高崎美由貴

発行 新潟県聖籠町議会
編集 広報広聴常任委員会